

YWVOB会 会報 No.51

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

<http://ywvob.com/>

2012年9月1日発行

～ 51号の目次 ～

・YWVOB 会長ご挨拶	1	・期別便り（2期）	9
・2013 年度 OB 総会案内	2	・期別便り（32期）	10
・第2回 OB 会役員会報告	3	・自由投稿（登山再開して10年）	11
・第3回 OB 会役員会報告	4	・現役部員への活動支援紹介	13
・第34回 OB 山行（両神山）報告	5	・写真で見るワンゲル今昔	14
・第35回 OB 山行（滝子山）案内	6	・OB 会費納入のお願い	15
・苗名小屋便り	7	・編集委員会から	15



YWVOB会長ご挨拶

会長 鈴木弥栄男（9期）

節目の会報50号を発行してから早や4ヶ月が経つ。その間、世界も日本も大きな変化の流れがある。でも我々YWVOB会の会員は、悠々に過ぎていく、変化のないように見える自然に接しながら時を刻んでいる。まさに徒然なるままに、一日、一日を有意義に感じながら、また生きていることに感謝しながら過ごしている。

過去の、また新しい絆を大切にするもの、新たな発見をして充実さを味わっているもの、新たな挑戦をしているもの、それぞれの姿があってもおかしくない。近時のOB会活動では、「両神山」OB山行に25名が参加し、6月の苗名小屋行事に25.5人が参加し、OB会につながる現役の部員数も増えつつあるなど、変化がみられるのはOB会にとって嬉しいことである。これからも新しい風を送り込んで大いに楽しみたいものである。



■ 2013年度 OB総会案内

総務委員長 横溝真司 (21期)

2013年度の総会も、ここ数年と同様に、母校、横浜国立大学のホームカミングデーに合わせて開催いたします。OB会員の皆様のご参加をお待ちしております。

2013年度 YWV OB 総会

【日時】 10月27日 (土) 9:30~11:30 (受付開始9:00 予定)

【会場】 横浜国立大学 常盤台キャンパス
経営学部 105号室

OB 総会にご出席の方は同封のハガキの総会出席欄に○をつけて返信してください。また、皆様の近況を是非お知らせください。

総会終了後、ホームカミングデーの交流会に合流する予定です。詳細が決定したならば、メルマガ・ホームページでお知らせいたします。

メイン講演 12:00~13:30 宇宙航空研究開発機構名誉教授 的川 泰宣氏
交流会 14:00~16:00 ワンゲル懇親会

ホームカミングデーの交流会への参加は、参加費3,000円を事前に郵便振り込みしてください。手続きの詳細は横浜国立大学ホームカミングデーのホームページ (<http://homecoming.ynu.ac.jp/2/koryukai.html>) をご覧下さい。

なお、今年もOB総会に出席し、交流会に参加される方には、OB会から1,000円を補助する予定です。



第7回 横浜国立大学ホームカミングデー

テーマ **再び出会う、その先に/アカデミックYNU**

日 時 2012年10月27日(土)

10:00~16:00 (予定)※一部のイベントを除く

場所 常盤台キャンパス

(横浜市保土ヶ谷区常盤台)

■ 2012年 第2回役員会報告

幹事長 西田雅典 (20期)

2012-4-21 (土) 14:00 から川崎市「てくのかわさき」にて第2回役員会が開催された。

【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、吉村(3)、鈴木(9)、榎本(12)、白須(17)、小浜(17)、山下(17)、山口(18)、笛木(19)、石垣(20)、西田(20)、武藤(20)、安武(20)、横溝(21)、親跡(34) 以上16人

【内容】

1. 各委員会報告

①総務 (武藤副委員長) :

- ・メルマガ編集輪番で担当決定 (5月: 茂呂)。配信は武藤さんより。
- ・Facebook の仕組み、活用方法 (案) につき説明。OB会での運用につき継続検討。

②山小屋 (榎本委員長) :

- ・2月で雪下ろし終了。今後の安全で効果的な雪下し方法につき機器導入含め委員会で検討する。
- ・GWで現役の参加を働きかけたい。
- ・岡田さんお祖母さんご逝去。お悔やみとOB会から香典 (3万円) お供え。

③編集 (石垣委員長) :

- ・51回は原稿7/27、入稿8/19、発行・発送9/1の予定。

④山行 (山口委員長) :

- ・1月の三頭山実施報告、5/12 両神山計画説明

⑤ホームページ (吉村委員長) :

- ・HPでのリンク改善報告。

⑥部史編纂 (嘉納委員長、山下さん、笛木さん) :

- ・名簿、史料、写真などデータはおおむね整理済み。
- ・歴史館を役員内で閲覧し名簿情報の公開方法含めたセキュリティ管理などにつき次回討議。

⑦会計 (吉野幹事) :

- ・50回記念号の臨時費用 15万円を特別準備金から充当 (現役から承認得る)。
- ・中間予算報告: 現役への活動費 (5万円) 支援、岡田さんお祖母様の香典 (3万円) 承認。

2. 次回役員会予定: 2012年7月28日 (土) 14:00~

場所: てくのかわさき (武蔵溝ノ口) 1F 第2研修室にて

以上

■ 2012年 第3回役員会報告

幹事長 西田雅典 (20期)

2012-7-28 (土) 14:00 から川崎市「てくのかわさき」にて第3回役員会が開催された。

【出席】 嘉納 (1)、吉野 (2)、鈴木 (9)、山川 (12)、榎本 (12)、白須 (17)、小浜 (17)、山下 (17)、堀内 (18)、山口 (18)、笛木 (19)、西田 (20)、武藤 (20)、白木 (21)、横溝 (21)、山崎 (22)、小野 (34)、親跡 (34)、<現役>斎藤 (54)、谷口 (54)、軍司 (54) 以上 21 人

【内容】

1. 各委員会報告

①総務 (武藤副委員長) :

- ・次回メルマガ編集担当は白木さん、配信は武藤さん。
- ・現役夏合宿 (8月上旬、南アルプス北部) 壮行会は8/4 横浜にて開催で調整 (西田)。
- ・名簿管理方法につき歴史館の名簿 DB 活用含め、次回討議する。

②山小屋 (榎本委員長) :

- ・6月小屋開け 26 人で対応。7月小屋整備、草取り実施。
- ・次回 8/11~12 に整備。床湿気の仮対策実施をしたが要フォロー。
- ・除雪方法について委員会で継続検討

③編集 :

- ・原稿締切 : 7/27、入稿 : 8/19、発行・発送 : 9/1

④山行 (山口委員長) :

- ・次回は 10/13 滝子山へ。8/26 偵察予定 (笛子駅集合)。
- ・13 年度山行計画案 (1/19 天城山、5/18 櫛形山か丹沢山、10/19 日光白根) を総会上程

⑤ホームページ (鈴木副委員長) :

- ・アクセス件数ピーク時は 400 超えだが減少している。

⑥部史編纂 (嘉納委員長、山下委員、笛木委員) :

- ・写真データ、ワンダリング史料など整理して歴史館に掲載済み。
- ・歴史館のセキュリティー管理も確認できたので、正式活用を総会に上程。
- ・歴史館の名簿 DB 活用方法 (現在の名簿管理・活用方法との比較検討) は次回討議。

⑦会計 (吉野幹事) :

- ・今回、51 号会報に会費納入票を同封する。

⑧現役からの報告 (54 期斎藤主将) :

- ・現状の部員は 1 年生 8 人、2 年生 1 人、3 年生 6 人、4 年生 3 人の計 18 人。
- ・部で貸与している予備ザックが 2~3 必要な状況。⇒OB 内で使えるザック供出を行う。次回 OB 総会のときに持参する。そろわない場合は OB 会からの支援を検討する。
- ・大学補助は、2011 年分は 2012 年に現物支給 (ガス缶など)。2012 年分は不明。
- OB 会から 11 年度にテント 3、部室ラック改造を補助。
- ・夏合宿は 8/8 から南アルプス北部 (仙丈、甲斐駒、北岳等) を計画。

⑨次回、OB 総会議事 :

- ・議事案説明 (西田) : 通常議題、特別議題 (歴史館、60 周年)、詳細は会報、メルマガで配信。

- ・HCD 実行委員会との調整は吉野さんにお願いする。

<調整結果>OB 総会 10 月 27 日 (土) 9:30~11:30 経営 105 号室にて
交流会は 14:00 より。

2. 次回役員会予定 : 2012 年 10 月 20 日 (土) 14:00~

場所: てくのかわさき (武蔵溝ノ口) 5F 理容・美容実習室

以上

■ 第34回 OB山行（両神山）報告

OB 山行副委員長 小浜一好（17期）

日程：2012年5月12日（土）

参加者：吉野（2）、腰塚（3）、谷上（4）、佐木（8）、鈴木（9）、山本（10）、安藤（11）、榎本、山川（12）、小口、狩野、吉田（14）、白須、小浜（17）、向井、山口、堀内、植草、植草美、小山、塩川、壺井（18）、塩川（19）、小野、親跡（34） 参加人数計25名

今回は百名山、両神山（標高1723m）。一般コースである清滝小屋を通るコースだと岩場やクサリ場が続き、日帰りでは厳しいが、私有地の中を通る白井差新道のおかげでOB山行でも行けることになった。アカヤシオツツジなど花種も多く新緑の秩父を十分楽しんだ。

9時に西武秩父駅に集合。今回は18期の参加者が8名と多く、総勢も25名と久しぶりの20名超え。目標（？）の30名は近い。初参加も多く、14期吉田さん、18期塩川夫妻、小山さんの4名。塩川夫人の19期脇さんと会うのは卒業以来で懐かしかった。また、シニア海外協力隊でベトナム赴任中の安藤さんが一時帰国中で久しぶりの参加など、話題豊富で話の花が咲いた。皆さん是非今後も参加をお願いします。

10時に登山口の白井差を地権者の山中さんに送られて出発した。ちなみにルート維持のため予約制、往復原則、犬連れ禁止、また入山料として千円（記念バッジ付）が必要。山中さんは両神山のガイドとして著名な方で先祖の話から両神山の動植物、山岳救助など話題も豊富というか際限がない。4月の下見の時は全行程同行だったが、今回も下山の途中で合流しまシンガントークが炸裂、OB山行の語り草になった。



女性初参加者に感想を聞いた。

（ ）内は筆者。

小山さん「とても気持ち良い疲れでした。また是非参加したい」（久しぶりの山なのにさすが元体育科！）

塩川夫人「花の名前を覚えたが、きっと明日には忘れてしまう」（旦那は忘れないでね）

それでは次回は10月13日（土）第35回OB山行、紅葉の滝子山（山梨）でお会いしましょう。

（高低差860m、歩行時間6時間10分）

釣りも禁止されているため岩魚の魚影が濃い水無沢を遡行し、尾根上をジグザグに高度を上げ、傾斜が緩むと12時過ぎ笹平に着く。ここで昼食休憩。女性が多いせいか差し入れが豊富で食後や休憩のたびにお菓子をいただき感謝。頂上剣ヶ峰に13時着。天候に恵まれれば奥秩父、八ヶ岳、北アルプス、浅間山など360度の眺望だが今回は今一であった。15時20分白井差に下山し、恒例の温泉（薬師の湯）で汗を流し帰路に着いた。

今回、20期代の参加者がいないのが寂しい。何かと忙しい世代とは思うが、たまには山もいいが？



■ 第35回OB山行（滝子山）案内

OB 山行委員長 山口貢三（18期）

かの大菩薩から笹子に連なる山並みを小金沢南大菩薩連嶺といい、その南端に独立峰のごとく大きく聳え、麓からは山頂が3つに見えるのが滝子山です。笹子駅から1時間ほど歩いた道証（みちあかし）地蔵というところから沢沿いの一般的なルートを登ります。山頂まで急坂はほとんどありません。緩やかな登り坂がひたすら続き、沢沿いに滝を見ながら歩けるので、初心者でも楽しめるコースです。西側の三角点のないピークが最高峰です。山頂で展望を楽しんだら大谷ヶ丸に向って少し縦走気分を味わいます。米背負峠からは沢沿いに下りすぐに林道に出ます。ここから4kmの長い林道歩きで汗をかけば天目山温泉に到着します。強アルカリ性の温泉で美肌にならばバスで甲斐大和駅に出ます。登りは丹沢のバカ尾根より300m低く、降りは600m少ないのですが、歩行距離は林道の分が長めとなっていますので、一般の上といったランクです。初参加の方、お久しぶりの方、大歓迎！多くの方のご参加をお待ちしています。

また9月、10月のメルマガでも詳しくお伝えしますので、お見逃しなく。

〔日 程〕 2012年10月13日（土）

〔行 先〕 滝子山（たきごやま・1610m）

〔地 図〕 昭文社山と高原地図24「大菩薩嶺」

〔集合・交通〕 電車：JR 笹子駅 8:30集合

駐車場はありませんので、電車で来てください。

〔行 程〕 笹子駅 8:45～道証地蔵～平ヶ沢～滝子山～大谷ヶ丸～米背負峠～林道～やまと天目山温泉 17:12=バスで11分=JR 甲斐大和駅 17:31

（歩行時間6時間10分） 体★★ 技・危★

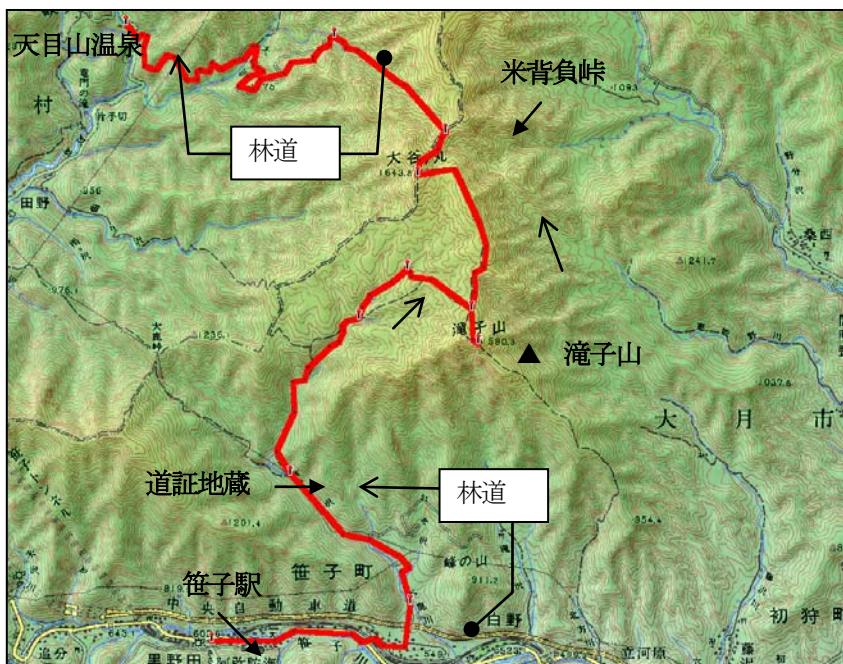
〔参加費〕 500円 〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具

〔温 泉〕 やまと天目山温泉（500円）。下山後ご希望の方はタオルのご用意を。

〔申込み〕 参加ご希望の方は10月6日までに下記のいずれかにご連絡ください。

小浜一好（17期） 山口貢三（18期） 小野恵美子（34期）

メール：sanko-ywvob@yahoo-groups.jp



■ 苗名小屋便り

小屋委員長 榎本吉夫 (12期)



5月ゴールデンウィークの山小屋

残雪の5月ゴールデンウィークは、14期小口さんと39期後藤さん&お子さん2人が雪解けの山小屋を楽しまれたようです。まるで、孫と遊ぶおじいさんのような写真がほほえましいです。6月2日(土)、3日(日)に実施いたしました、小屋開け&山菜採りには、1期の嘉納前会長、5期諸角ご夫妻を始めとして、卒業以来の方、現役、会員外の方々も含めて、25人プラスαという40周年以来の大人数の参加をいただき、ありがとうございました。なんとか天気も日曜日の後半は雨でしたが、メインのバーベキューでは降られずに楽しいひとときを過ごすことができました。また、笹ヶ峰から黒沢、十二曲りまでの散策、夢見平散策や、小屋近くの仙人池の散策など、春早い妙高を満喫されたと思います。

以下に、5月、6月の行事の模様を写真で紹介します。



山菜を前に、これから夕食！ (6月)



おじいさんとお孫さん？ (5月)



夢見平と三田原山 (6月)





46期三井（肥塙）さんの娘さん



語らう現役2人（6月）



大水量のなえなの滝（6月）



乙見湖より、焼山、裏火打山（6月）



新緑の中を散策（6月）



仙人池の前で、現役、46期三井さん一行（6月）

今後の山小屋行事予定

8月11日（土）～19日（日）

旧盆ウィークに、夏の小屋行事2（小屋整備他）、
参加者の予定合わせて、分散実施予定…実施済み
(9月の3連休15日（土）～17日（月）は、必要
に応じて計画！)

10月6日（土）～8日（月） 秋の小屋行事

（きのこ採り、小屋山行・周辺散策&小屋整備）

11月3日（土）～4日（日） 小屋閉め

（追伸）

一昨年の土台交換、一階床の全面張り替え等の大改修を終え、たいへん住みやすい山小屋に変身（？）した
と思っております。是非、季節を問わず、様々な自然に直に触れられる環境を体験しに、あるいは昔を思いだ
しに、我々の山小屋へ来て下さい。

冬の雪下ろし対策、床下の湿気・結露対策など、まだまだ改善・改修したい項目も多々ありますので、OB
の皆様や関係する皆様のご協力とご支援を今後もよろしくお願ひします。

■ 期別便り（2期）

吉野大次郎（2期）

あれから 50 年

2期は1962（昭和37）年に卒業しました。メンバーは、学芸学部が男子2名、女子4名、経済学部が男子1名、工学部が男子5名で計12名です。

あれから50年、この12名は50年間一人として欠けることなく今日に至っております。

1999年、シニアOB月例会が始まりました。それまでは年に1回のシニアOBの集いに集まるだけでしたが、この年から文字通り毎月集まるようになりました。

シニアOBの月例会や集いは、いわば1期から8期までの合同同期会であり、30～60人の大人数の集まりです。それはそれで賑やかでいいのですが、ワンゲルの基本単位は期である、2期だけで集まろうと、丁度月例会の始まった1999年1月、中華街の華正樓で第1回同期会を開催しました。参加者は10名でした。

以来14年、毎年春に開催し、お花見に加え、博物館、美術館、神社仏閣、公園、植物園、名所旧跡等を巡り一日を楽しく過ごします。

斎藤彦司君の県立歴史博物館を皮切りに、寅さんの故郷柴又や小江戸川越散策、国立演芸場で寄席見物、定期観光バスで横浜市内の名所巡りなど行く先はバラエティに富んでいます。

2002年には卒業40周年記念として山の辺の道（一泊）へ出かけ、遠く飛鳥の時代に思いを馳せました。

今年の春は小石川植物園で満開のお花見をし、相撲茶屋寺尾でチャンコ鍋をいただき、江戸東京博物館をじっくり見学して卒業50周年を祝いました。

毎回8～11名が参加します。さていつまで続くのでしょうか。



12.4.6 50周年記念同期会 小石川植物園にて

各人のプロフィール、14年間の同期会の歩み、往時の写真等は OB会ホームページ⇒各期のたより⇒各期の部屋⇒第02期のページ に詳しく掲載しております。14年間の同期会の行先、参加者数等は下記のとおりです。

月日	行先	食事・宿泊	参加者
99.1.23	横浜中華街	華正樓	10
00.3.18	神奈川県立歴史博物館	レストランフロ	10
01.4.1	金沢文庫、称名寺、八景島	パラダイスキッキン	9
02.4.17-18	山の辺の道	(宿) 大和路、三輪ソーメン	9
03.4.2	飛鳥山公園、旧古河庭園、六義園	ギーニョギーニョ	9
04.4.10	上野公園、国立博物館、国立西洋美術館	すいれん	9
05.4.15	里見公園、柴又、矢切の渡し	川甚	9
06.4.30	小江戸川越	川越プリンスホテル	10
07.4.13	浜離宮恩賜庭園、墨田公園、浅草	浅草ビューホテル	11
08.4.4	神代植物公園、高幡不動尊	大師茶屋	11
09.4.3	山種美術館、千鳥が淵公園、国立演芸場	四川飯店	10
10.3.31	三渓園、横浜市内観光バス(午後コース)	崎陽軒本店イルサッジオ	11
11.4.27	奥多摩漫遊の旅	いもうとや	8
12.4.6	小石川植物園、江戸東京博物館	寺尾	10

■ 期別便り（32期）

藤森潤子（旧姓 高瀬）（32期）

先日職場で、20年勤続の表彰を受けました。と、いうことは、国大を卒業してからも20年が経過したことになります。気がつけば驚くほど月日が流れ、四十路を立派に過ぎた自分がいるのです。

でも、この20年を振り返ってみると、間違いなくたっぷり20年分の思い出があります。仕事でも私生活でも大きく世界を広げ、忙しく失敗やドタバタを繰り返しながらも充実した生活を送ることができ、自分自身も成長できた、と、年を重ねた自分を嬉しく思われるのです。

この充実した20年には、YWVでの経験やそこでの出逢い、味わった精神的雰囲気が、私にまるで源泉のようになって影響していると思うのです。

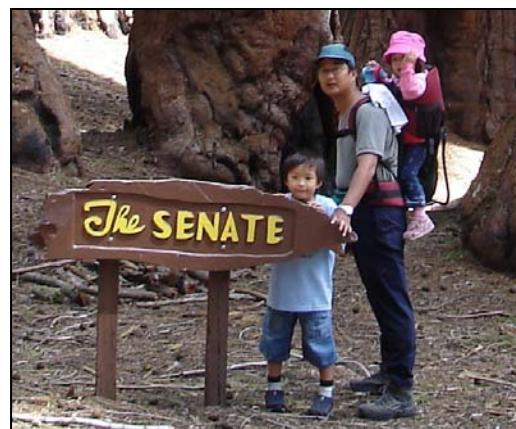
20代は大学在学中の4年間を含みますが、自分の世界を大きく広げた10年間でした。入部するまで本州から出たこともアウトドア経験も全くなかった、どこかボンヤリしていた私が、自然の中に入る術を知り、自分で荷物を背負って（こう書くと、夫に「お前は全然自分で背負ってなんかいない！」と言われそうですが…笑）、自分の足で歩いて目的とする場所に行く経験を積みました。雄大な自然に感性を磨かれ、幾度も“感動”に心をふるわせました。

入部当時の執行部だった30期は大所帯で、ののしり合いながら仲良く行動するパワフルな方々。（今年の春の山田さんの中国行き壮行会でも、言いたい放題な元気っぷりは変わらなかったと竹澤さんから伺いました(*^_^*)）その中の藤森朝詩を伴侶とし、卒業後は一緒に世界中の自然を歩いてまわることができました。国立公園を中心に巡った国々は15カ国を超みました。（世界のどこの秘境へ行っても、日本人と、YWVの語源だというドイツの人がいるように思えたのは私だけでしょうか？面白い発見だと思いませんか？）ダイビングも始めて海の中もワンダリング開始。シパダンの魚影の濃さに圧倒され、モルジブのサンゴの白化に問題意識を高めました。パタゴニアの氷河湖脇キャンプ場で飲んだワインは格別で（この時のワンダリング記録は宮崎さんはからいで、“山と渓谷”に掲載されたのでした）、私たちの最高峰は、マレーシアのコタ・キナバル山となりました。

仕事の方も、働いていると水を得た魚のようになる自分を感じるほどでしたので、順調な滑り出しだったといえるでしょう。

30代は子どもが2人加わり、家族を育てる10年間でした。初めての子どもが生まれてすぐに、夫の仕事の都合で札幌へ。どうやって赤ん坊を育てたらよいものかと途方にくれ不安になっていたのは最初だけ、夫はすぐにカヌーを始め、数ヶ月後には赤ん坊を連れてキャンプ三昧。テントの中でおむつ替えしている写真を私の母が見て、仰天していたのを覚えています。

家は鎌倉山に建てました。私の中学校時代からの友人に設計してもらった家なのですが、その設計士の友達に「よくこの土地を買ったね。偉い！」と、おかしな褒め方をされるほど変わった（傾斜地で草ボウボウで道路より下にある）土地でしたが、この土地を選んだのも、YWVに始まる自然体験が大きく影響していると思います。山で清々しくレストしている時の再現を夢見、自然とつながった本当に気持ちのよい「山小屋」に完成しました（先日NHKの“プロフェッショナル”でも紹介された家なのですよ）。ほったらかしで育てた子ども達ですが、この家のお陰で、のびのびと健康に育つ



ていると思います。山行で、どんなテントをどこに張るか、ということと似て、家は人生を快適で豊かにしてくれるとても重要な要素だと、住み始めて実感しました。

夫の転勤でロサンゼルスに住む機会を得たのも幸運でした。アメリカの多様で奥深い国立公園を可能な限り巡り、国立公園の父といわれるジョン・ミューアが自然の中で生活した日々を “These beautiful days must be enriched all my life.” という言葉で表現しているのを、深い共感を持って読みました。

仕事も喜びを持って心から楽しめるようになったのは、この頃からだったと思います。

皆さん、お元気でお過ごしですか？小野ちゃん（もうこうお呼びしては失礼でしょうか？）、OB 山行の企画をいつもありがとうございます。日々の生活に慌ただしく参加できずにおりますが、山行報告を楽しく拝見しております。この夏、研修で久し振りに横浜国大を訪れました。文化サークル棟は当時の面影のままで、懐かしくも少し照れくさく、未熟で真剣だったあの頃を思い出しました。皆さんとの出逢いを感謝し、これからもお互い自然に畏敬の念を持って豊かな人生を送っていきましょう。またお逢いできるのを、楽しみにしております。

■ 自由投稿

橋岡崇史（22期）

登山再開して 10 年

いまだ山に登っているということで原稿依頼がきいてしまいました、22期の橋岡です。

10 年前に知人に誘われて久しぶりに奥多摩の山に登ったのがきっかけで、それから再び登りはじめ、1 年後には社会人山岳会に見学に、そこで 3 年生の夏合宿、台風の（恐れの）ため行けなかった甲斐駒ヶ岳の企画があると聞き、（4 月でしたが）リベンジで参加してみることに。そこから始まって 2003 年はワンゲル時代以来の大量山行の年になってしまいました。

個人史的に小カンブリア紀？、ワンゲル時代の不完全燃焼を埋め合わせるかのように、突然の狂い咲きのようにこの年は 30 回以上山に登りました。こういった衝動は大切にしなければと、年を取った今では思います。

ああこれからも燃えるような衝動があるのだろうか？

それからも数年間はかなり夢中になって登っていました。

年別マイベスト山行をセレクトしてみました。

2003 年 甲斐駒ヶ岳黒戸尾根 本格的に登山再開となつたきっかけ。

2004 年 槍ヶ岳北鎌尾根（GW） 前年の冬にも挑戦しましたが、あえなく敗退。リベンジでした。

2005 年 白馬岳～親不知（7 月） 縦走途中で梅雨が明けた。その空が印象的だった。

2006 年 銚子北方稜線（GW） 宇奈月温泉（うなづきトリオを思い出す）から銚子までの長大なコース

2007 年 黒部川上ノ廊下（8 月） 奥深く原始を感じさせる黒部の沢を遡行しました。

2008 年 間ノ岳・農鳥岳（冬） 全国的に風が強い日でした。北岳は断念。

2009 年 飯豊縦走（10 月） 紅葉の季節でしたが雪が降りました。

2010 年 潟沢・北穂高岳（GW） とにかく天気が良くてまた楽しめた。

2011 年 爺ヶ岳（冬） 久々の冬山。目標は鹿島槍ヶ岳でしたが。でもまだ冬山に行けて良かった。

まだ山を続けている理由として、沢登りにはまってしまったことがあります。

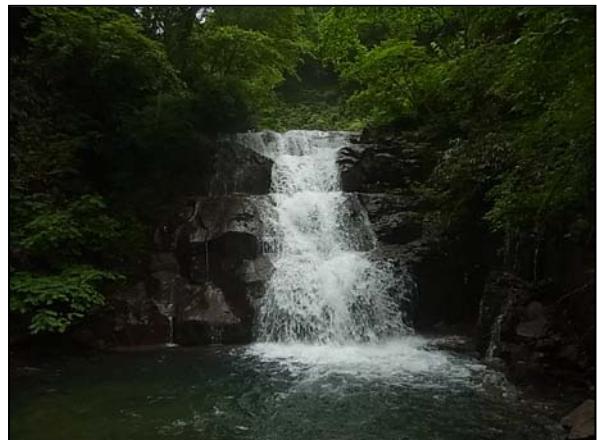
ルートを探しながら遡行するというワンゲルの藪こぎに通じるものもあるけれど、川原でのんびりタープ（テント）泊、焚き火をしながら夜を過ごすというのがたまらなく楽しい。それはワンゲル時代の原始生活 PW とか放浪 PW とつながっているのかなと思います。

ナメを走る水と遊び、滝を登る適度な緊張感、ルートを探して高巻きして藪こぎ、子供の頃の冒険ごっこをレベルアップしてまだやっている気分です。でもこれからもずっとやっていきたい。

最近7月にも尾瀬方面の沢に行きました。その時の写真&その他の写真です。



尾瀬中ノ岐沢



尾瀬中ノ岐沢の滝

せっかく再開したので、これからはペースダウンしても引退することなく生涯現役で山登りを楽しんでいきたいと思っていますが、果たしてどうなることか？



北岳



北方稜線から剣



黒部上ノ廊下



イワナ

■ YWV現役部員への活動支援紹介

吉野大次郎（2期）

安武 和俊（20期）

夏合宿壮行会報告

2012年8月4日（土）17時半から本年度現役夏合宿の壮行会を横浜西口で開催しました。

鈴木会長、西田幹事長の大幹部を欠いていましたが、OBは数でカバーし、結局今年もOBの方が多いという夏合宿壮行会でした。

【参加者】

OB 7名：吉野（2）、榎本（12）、山口（18）、武藤（20）、安武（20）、横溝（21）、笛倉（30）

現役6名：3年生 斎藤（主将）、谷口（副主将）、軍司

4年生 三国

1年生 古谷（経済）、中山（生産工学）

部屋は細長くて、万遍なく会話をするというわけにはいきませんでしたが、周囲が静かだったので声は全員に届きました。料理は豚しゃぶ食べ放題と飲み放題で充分に頂きました。豚は柔らかくてとてもおいしかったです。

34年前に20期の夏合宿で遠征した、南アルプス赤石岳の山頂の石を披露して、北岳遠征にエールを送りました。

（コメント 安武）



1次会

夏合宿は、8/8（水）より12（日）まで甲斐駒ヶ岳、北岳を目指して、本日出席の6名が参加します。また、オプションとして前日に仙丈ヶ岳のプランがあります。



2次会

ザック下記3点をOB有志が寄贈しました。
吉野さん 45L、榎本さん 55L、武藤さん 70L

私も18期主将の向井さんから頂いたキスリングをと申し出ましたが、時代遅れだと断られました。向井さん、済みません。

（コメント 安武）

.....

今回は現役が夏合宿のため、「現役部員の活動紹介」はお休みで、代わりに「夏合宿壮行会報告」をお届けします。（編集者）

■ 写真で見るワンゲル今昔

編集委員会 編

会報 50 号記念特集でお届けしました「写真で見るワンゲル今昔」の続編です。今回は横浜国立大学ワンダーフォーゲル部歴史資料館の中の映像館を訪れました。映像館は 8 つのパートに分かれています。全てをお伝えすることは到底できませんので、最初のパート「創部から 5 年 1957~1962」からごく一部をご紹介することにします。OB 会員の皆様、是非 YWV 歴史資料館 (<http://www.ywvrekishikan.sakura.ne.jp/index.php>) を訪れて、若かりし青春時代にタイムスリップしてみてください。



1957 年 夏合宿 (浅間山登山)



1959 年 7 月 8~18 日 北アルプス W



1958 年 4 月 新人歓迎 (鎌倉・天園) (編集者: 服のデザインに時代を感じますネ)



1960 年 夏合宿 (安達太良山)

10 日間近くに及ぶ長い東北分散合宿後、岳温泉スキー場に集結しました。総勢約 80 名の大部隊でしたが、安達太良山へ登頂した精銳はこの 47 名だったようです。

■ OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎 (2期)

会報51号に同封しました払込取扱票は、2013年度年会費等をお振込いただく用紙です。

ゆうちょ銀行の各店舗窓口・ATMからお振込みください。

払込手数料は3万円未満の場合、窓口120円、ATM80円です。

- ・年会費：2,000円 (12年10月から13年9月までの2013年度の年会費)
(払込取扱票に「〇〇年度までの会費は納入済みです」という表示がある人は納入不要です)
- ・前納会費：10,000円 (2013年度～2018年度の6年間の年会費前納分)
- ・寄付金：(一般、小屋) どちらかを〇で囲んで
- ・最新名簿代金：500円 (郵送希望者のみ)

払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行で用紙をもらい、下記口座番号と加入者名を記入してお振込みください。

口座番号:00290-3-2419
加入者名：横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

★他の金融機関からの振込み

他の金融機関からも振り込むことができます。その場合、預金種目、口座番号は下記のようになります。

手数料は各金融機関、振込み方式によって違いますが、3万円未満場合は210～630円です。

銀行名：ゆうちょ銀行 (9900)
店番：029
店名：0二九店 (ゼロニキュウ店)
預金種目：当座
口座番号：0002419
カナ氏名：ヨコハマコクリツダイガクワンダーフォーゲルOB カイ

■ 編集委員会から

編集委員長 石垣秀敏 (20期)

会報第51号の編集作業が日程的に丁度ロンドンオリンピックと不運にも重なってしまいました(笑)。オリンピックを見ているとなかなか編集作業は進まず、あっという間に夜中となり、結果睡眠不足の毎日でした。忙しくも眠い中、原稿執筆や編集をしてくださいました皆様、ありがとうございました。

ロンドンオリンピックのトピックとしては、やはり2人も横浜国大出身の選手(100mハードルの木村文子選手、柔道100kg超級の保科知彦選手)が出場したことでしょう。残念ながら予選や1回戦で敗退してしまいましたが、母校出身の選手が世界最高の舞台に出場すること自体、驚嘆であり誇りだと思います。

今回のオリンピックで初めて開会から閉会まで毎日、日本選手がメダルを獲得したそうです。また、メダル総数も38個と、アテネオリンピックの37個を超え最多だそうです。こんなに日本選手が活躍しましたから、毎日が寝不足になったのも当然でしょう。オリンピックも終わり会報編集も終わり、これでやっと夜ゆっくり眠ることができます。





北鎌から槍
撮影 22期 橋岡崇史氏

編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。
自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。

宛先 石垣秀敏 (20期) gakky@s2.dion.ne.jp
成島和仁 (22期) suikyou3@m3.spacelan.ne.jp

YWVOB 会会報第 51 号

発 行：横浜国立大学ワンドーフォーゲル部 OB 会
発 行 日：2012 年 9 月 1 日
発行責任者：鈴木弥栄男(9)
編集責任者：編集委員長 石垣秀敏(20)
編 集：編集委員 成島和仁(22)
印 刷 所：株式会社 カワチャヤ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)
編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。